

2011年7月28日

株式会社mediba

株式会社ノボット

株式会社medibaによる株式会社ノボットの株式取得による medibaスマートフォン向けネット広告事業の拡大について

株式会社mediba(本社:東京都港区 代表取締役社長 大朝 毅 以下 mediba)は、ネット広告配信会社 株式会社ノボット(本社:東京都大田区 代表取締役社長 小林 清剛 以下 ノボット)の普通株式を取得、子会社化することといたしましたのでお知らせいたします。

今回の資本提携により

- ① 国内第2位の広告在庫規模のアドネットワークの実現
- ② スマートフォンに最適な広告配信を実現するアド・プラットフォームの開発
- ③ アジア圏を含むアドエクスチェンジ連携によるアドプラットフォームの拡大

を推進していきます。

- ① 両社ではそれぞれスマートフォン・アドネットワーク向けのサービス(medibaでは「medibaAD」、とノボットでは「AdMaker」)を現在展開しています。今回の資本提携により両社のサービスを統合し、取り扱う広告量を拡大、スマートフォン向けとしては国内第2位(※1)の月間30億インプレッションの広告在庫規模となるアドネットワークが実現されることとなります。さらに両社の経営資源を集約することで、サービス統合 1年以内に広告在庫月間150億インプレッション(※2)を目指します。
- ② ノボットが持つエクスチェンジノウハウとmedibaが持つターゲティング機能を合致させることでスマートフォンに最適なアド・プラットフォームを実現していきます。今後パーソナライズ・コミュニケーション・ツールとして普及するスマートフォンにおいては、ユーザの様々な利用形態が起こると予測されています。新たなアド・プラットフォームでは、ユーザの行動データを活用したターゲティング機能を実装し、国内から海外のネットワークも含めアド・エクスチェンジにより広告ネットワークを広げ、ユーザにマッチした最適な広告配信を実現します。また、ターゲティング手法の開発はKDDI研究所と共同で開発を進め、年内に各種機能のオンライン・リリースを予定しています。今後、本配信プラットフォーム「medibaAD Platform」によって、スマートフォンに最適な広告のマッチングを実現し、広告主・媒体社・アドネットワーク事業者へ新たなビジネス基盤を提供してまいります。
- ③ 現在すでに国内のアドネットワーク事業者とのアド・エクスチェンジ(※3)の提携を進めておりますが、さらに、スマートフォンの拡大が見込まれるアジア圏の国・地域を中心とした海外アドネットワーク事業者との連携も推進し、内外のパートナーシップ戦略を強化します。これによってアジア圏で最大の広告ネットワーク規模を持つアド・プラットフォームを実現していきます。

なお、年内にはシンガポール拠点も開設することとしており、そして、韓国・台湾・インドネシア・ベトナムを始めとするその他の国・地域への拡大も順次進めてまいります。

medibaとノボットは、広告主のサービスの利便性と広告効果の向上、媒体社の収益性や価値の最大化、提携するアドネットワーク事業者の収益機会の確保を行い、スマートフォンビジネス市場の健全な発展へ寄与をしていく所存です。

株式取得に関する詳細概要は別紙をご参照下さい。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社mediba 広報担当 03-5572-7566

株式会社ノボット 広報担当 03-5724-3743

概要

1. 本件株式取得による子会社化について

medibaは、ロボットの普通株式122,339株(議決権比率90.0%)を同社の既存株主から取得し、ロボットを連結子会社といたします。

2. ロボット社の概要(2011年6月現在)

商号	株式会社ロボット	
代表者	代表取締役社長	小林 清剛
所在地	東京都大田区	
設立	2009年4月1日	
従業員数	11名	
主要株主	小林 清剛 ジャフコ・スーパーV3共有投資事業有限責任組合 ngiベンチャーコミュニティ・ファンド 2号投資事業有限責任組合 他	
事業内容	スマートフォン向け広告配信事業	
資本金	90,375千円	
HP	http://jp.ad-maker.net/	

3. 日程

2011年7月27日 株式譲渡契約締結

2011年8月 末日 株式取得予定

4. 今後の経営体制等について

今後も引き続き現ロボット代表者である小林 清剛氏が、代表取締役社長として事業運営にあたります。

以上

※1 各社発表資料に基づいた当社比較調べ

※2 広告掲載回数のごと

※3 アドエクスチェンジ

複数のアドネットワークサービスを相互に連携する技術です。

<株式会社medibaについて> <http://www.mediba.jp>

KDDIのポータルサイト au one を中心に広告事業、リサーチ事業、メディアプロデュース事業、新規事業を展開し、進化を続けるモバイル業界において、スマートフォンへの対応など常に時代にマッチした、企業とユーザーをつなぐサービスを提供しています。